

(別紙8)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月8日

【評価実施概要】

事業所番号	0171401755		
法人名	株式会社 サポートライフ		
事業所名	グループホーム 泰安の郷 海願		
所在地	北海道函館市海岸町9番30号 (電話) 0138-62-5577		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年2月8日	評価確定日	平成20年2月15日

【情報提供票より】(平成19年12月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 18年 3月 3日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	17人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,500 円	その他の経費(月額)	20,000~30,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり		1,330 円		

(4) 利用者の概要(12月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	5 名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 81.4 歳	最低	58 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	函館ベイサイド病院・函館医師会病院・函館中央病院 函館協会病院・藤岡眼科・さこ歯科クリニック
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

函館市内の西部地区に位置したこのホームは医療法人を母体として、地域に根ざしたホームを目標に取り組みんでいます。ホーム内は広く、ゆったりした空間になっており、所々に観葉植物が配置され、壁には季節感を感じさせる手作りのディスプレイや利用者の習字の作品等を飾り、利用者や家族から喜ばれています。管理者・職員は利用者のADLを落とさないように、毎日、ラジオ体操、嚙下体操を実施し定着するように努めています。地域では、自警団との協働で避難訓練やクリーン作戦(清掃作業)などに参加し、七夕まつりや体験学習での小学生との交流やボランティアによるアコーディオン演奏会、家族参加の食事外食会など行事や外出機会を積極的に行っています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回外部評価では、外部・内部の研修を段階や経験に応じて研修ができるような体制づくりの確立でしたが、教育委員会を組織し、職員の段階や経験に応じた研修計画を作成し実践に向けて取り組み改善されています。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、自己評価は全ての職員が参加する事で役割や目標が周知され、評価結果の改善点については、全体会議で話し合い明確化し改善に向けて取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在8回実施されています。主な主題については 海願の経営方針・介護理念・介護目標の説明 運営推進会議の目的と趣旨 防災訓練の実施報告 ホーム行事の案内と予定 利用者との茶話会での交流会
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 会報誌の「海願からの潮騒」を毎月発行し、利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、スタッフの紹介、介護の豆知識などを掲載し、それぞれの家族に報告しています。また毎月、請求書の郵送の際に預かり金出納帳と領収書のコピーを添付し、定期的に残高も報告しています。状態変化については、都度電話連絡などで詳細に報告され、意見箱の設置や苦情担当者も明示され、家族の意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに努め、気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームは孤立することなく町内会の地域の清掃活動や合同の避難訓練、自警団活動、小学校の運動会、学芸会の訪問や体験学習の受け入れなど地元の人々と交流することに努めています。又、地域の歯科の受診や理美容室や喫茶店を利用することを検討し関係作りを意識して地域との関係を深める取り組みも計画されています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で利用者が安心して過ごせるように楽しく、ゆっくりした時間と安全な生活環境を提供し、その人らしさを尊重したケアを心掛けるような事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、朝礼時に理念の唱和や介護目標を確認することで理念を共有し、ホーム内の目に付く所に理念を掲示し、理念に沿ったケアの実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームは孤立することなく町内会の地域の清掃活動や合同の避難訓練、自警団活動、小学校の運動会、学芸会の訪問や体験学習の受け入れなど地元の人々と交流することに努めている。		今後も地域の歯科の受診や理美容室や喫茶店を利用を検討し関係作りを意識して、地域との関係を深める取り組みも計画されている。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、自己評価は全ての職員が参加する事で役割や目標が周知され、評価結果の改善点については、全体会議で話し合い明確化し改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在8回開催されている。メンバーは利用者、家族、地域の町会長、地域住民、包括支援センター、保健所職員及び管理者・職員で構成され、海願の経営方針・介護理念・介護目標の説明、運営推進会議の目的と趣旨、防災訓練の実施報告、等の議案として意見を出し合いサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、函館市と運営推進会議以外にも行き来する機会を作りともにサービスの質の向上に取り組む努力をしている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>会報誌の「海願からの潮騒」を毎月発行し、利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、スタッフの紹介、介護の豆知識などを掲載し、それぞれの家族に報告しており、毎月、請求書の郵送の際に預かり金出納帳と領収書のコピーを添付し、定期的に残高も確認して貰っている。又、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置や苦情受付担当者も明示され、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに努め、気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>「海願からの潮騒」での職員の紹介や共用空間で全スタッフの紹介を掲示するなど家族に情報提供をしている。又、離職を抑えるように気持ちや悩みの把握に努め、管理者は職員の異動や離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、管理者や職員に外部の研修参加や資格取得の勉強会を積極的に奨励し、参加者からの報告で職員に周知している。又、教育委員会を設置し、毎月勉強会を実施し、希望や計画的な研修が受けられるような取り組みが図られている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市やグループホーム協議会主催の勉強会や研修会で交流する機会を設けており、サービスの質を向上させていく取り組みを心掛けている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前は、利用者・家族の見学やパンフレットの案内などで不安を解消する取り組みや、利用後もホームに馴染むために家族の面談を増やしたり、電話で話をしたり、自宅にドライブに行くなど徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に調理や後片づけ、繕い物をしたり、編み物、折り紙など趣味や特技を活かせるように利用者に教えてもらいながら信頼関係を深めるように努め支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの生活歴や希望、意向を踏まえて買い物や散歩、通院への支援、湯の川への熱帯植物園見学や大沼公園、函館牛乳工場などの観光地へのドライブで外出機会や千羽鶴折りなど趣味への支援や食事の準備、食の嗜好の把握など本人を尊重した取り組みがなされている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、定期的なカンファレンスや記録をもとに本人、家族、必要な関係者と話し合い、課題を明確化し、本人本位の生活ができるように検討している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>三か月に一度モニタリングを実施し、状態の変化や必要に応じて見直しを行い、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、通院の支援や近くの福祉センターへの散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。又、近効の観光地めぐりや理美容師の訪問など時々々の要望にも対応されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>母体医療法人から隔週の医師の往診、定期的な看護師の訪問で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望や状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>看取りの指針があり、2件の看取りの経験をしている。また、利用者・家族と相談しながら検討対応するよう職員全員で共有される取り組みがされている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>記録等の個人情報の扱いについては、最善の注意を払い取扱いしており、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーについても理念に基づき、一人ひとりを尊重した言葉かけや対応を心掛けている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの生活歴やホームでの習慣を大切に、スーパーでの買い物や散歩、食事の準備、掃除の手伝いなどの役割事の支援をしている。又、食事や入浴なども本人の希望やペースに沿って支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者本人の希望や状態に応じて一緒に頑張ってエプロンを付けた利用者が調理や食事の準備や後片付けをしている。又、献立の担当者は一人ひとりの希望や嗜好を取り入れ作成し、食事が楽しみ事になるように支援している。回転ずしや観光地での昼食会などの外食の機会を作っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めずに、最低、週2回を目安に利用者の希望に応じて時間帯や回数などの制限は無く入浴できるように支援している。又、1階の浴室には昇降式浴槽(特殊浴)を配備し、看取りや身体機能の低下に伴い、入浴が困難になる利用者に対応できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者本人の希望や状態に応じて、エプロンを付けて一緒に調理や食事の準備や後片付けをしており、利用者同士が助け合う様子も伺えた。又、献立の担当者は一人ひとりの希望や嗜好を取り入れ、食事が楽しみ事になるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に沿って、買い物や町内の散歩、外気浴、毎月行事として函館牛乳工場見学、函館山ロープウェー登山、五稜郭タワー見学、外食ツアー、四季の杜公園への紅葉ツアーなど気分転換ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間の防犯を目的とした施錠以外は鍵をかけないように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者を配置し、毎月、独自の防火管理チェックシートに記載し、消防署の協力のもと地域の自警団と連携した火災避難訓練を年2回実施している。		管理者は事故発生時の職員の対応の必要性を感じており、今後は、職員全員が応急手当や蘇生法の救急救命講習を受講し、職員のスキルアップと家族への安心感に繋げるように取り組むことを検討している。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な食事摂取量・水分摂取量が記録され、申し送り等で職員全員が把握している。また、一人ひとりに合わせた嗜好や量を調整しており、さりげない対応を心掛け栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握されている。		運営推進会議に於いて保健所の職員から協力を仰ぎ、栄養バランスやカロリーについても定期的に専門的な栄養士のアドバイスや相談を頂いたり、同一法人内の協力を仰ぐなど利用者の健康管理に取り組むことを検討している。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内では、懐かしい曲などを流したり、壁には毎月、季節感を採り入れた手作りのディスプレイを飾り、所々に観葉植物が配置され、畳のある和室では、職員や利用者同士が談話できる空間づくりとなっている。また、ベランダには、洗濯物や布団などを干す場を設けたり、生活感が出せる空間づくりを心掛けている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれたり、家族の写真が飾られ安心して過ごせる場となっていて一人ひとりの思いや安心感を与えるような空間づくりを心掛けている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。